

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年 3月 31日
2次評価日（課長等）	26年 6月 2日

1 事業名	市民水泳プール管理事業			コード	113408	
2 担当部課	部等	教育部	課等	スポーツ振興課	作成者	伊藤 雅章
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち			
		政策	文化・スポーツの振興	施策	スポーツの振興	
		予算科目	水泳プール管理事業費	業務委託	全部委託	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷市スポーツ施設条例			

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
施設の概要 （簡潔に）	25m競泳プール（日本水泳連盟公認）・幼児プール・徒歩プール・スライダープール・幼児用変形プール		
目的	対象者	市民等施設利用者	
	意図	市民水泳プール利用者が、安全・快適に利用できるよう、指定管理者を指定し施設の適正な管理運営を行う。	

5 施設の管理運営状況			
指定管理者	シンコースポーツ株式会社	25年度指定管理料	37,537,000 円
施設における 通常業務	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料等の徴収		
事業の実施内容	<p>（25年度に施設で行った運営事業・自主事業など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○業務内容 水質管理、清掃、環境衛生管理、建築物・建設設備保守点検、備品等維持管理、警備、監視、応急措置、窓口受付、大会等準備、駐車場運営等 ○自主事業 施設稼働率の低い平日昼間～夕方に、各種スポーツ教室を実施。 団体利用コース規制による一般利用者遊泳スペースの確保。 水光熱費の削減のため、営業終了後プールシートを使用。 		
前年度の課題 への対応	H26にプールオイルタンクの塗装修繕を実施予定。		

6 施設の利用状況		*②・③はどちらかの欄に記入			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)	
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%		
年間開設日数（日）	304	299	305	311	
1日の開設時間（時間）	7.5	7.5	7.5	7.5	
年間利用可能時間（時間）	2,280	2,243	2,288	2,333	
年間利用実績（時間）	2,280	2,243	2,288		
② 年間利用者数（人）	46,816	49,568	53,784	53,784	
有料利用者数	40,777	42,790	48,759	48,759	
無料利用者数	2,167	2,781	2,010	2,010	
減免措置者数	3,872	3,997	3,015	3,015	
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0	
有料利用件数					
無料利用件数					
減免措置件数					
④ 1日あたり利用者数、件数	154.0	165.8	176.3	172.9	
⑤ 施設利用状況の説明					

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	36,594,306	48,779,344	37,568,585	42,153,800
経常経費	36,562,306	37,344,844	37,568,585	40,153,800
臨時的経費	32,000	11,434,500	0	2,000,000
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	800,000	800,000	800,000	800,000
正規職員の人数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10
③ 合計コスト(①+②)	37,394,306	49,579,344	38,368,585	42,953,800
前年度比		132.6%	77.4%	112.0%
財源内訳				
一般財源	27,028,007	32,115,999	28,269,114	31,323,800
特定財源	10,366,299	17,463,345	10,099,471	11,630,000
* 特定財源の説明	施設使用料、財産使用料、財産管理収入、私用電気料			
④ 施設使用料年間収入額	9,527,450	9,641,350	9,462,800	10,488,000
⑤ 年間減免措置額	743,000	284,250	717,600	717,600
⑥ 受益者負担割合	28.1%	20.3%	27.1%	26.6%
⑦ 活動一単位あたりコスト	798	770	713	
前年度比		96.4%	92.7%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性＝施設の利用状況(項目6/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1	
1日あたり利用者数、件数 前年度比 106.4%		
⑤ 施設使用料収入が増加した。		0
施設使用料年間収入額 前年度比 98.1%		

●改善の内容(ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	平日夕方以降及び夏季シーズン等による混雑時の管理体制。	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	職員の意識向上を図るための研修等を実施する。	
改善開始時期	平成26年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
予定事業費	円	予定時期	
内容			